

宇都宮共和大学子ども生活学部1年生の課題

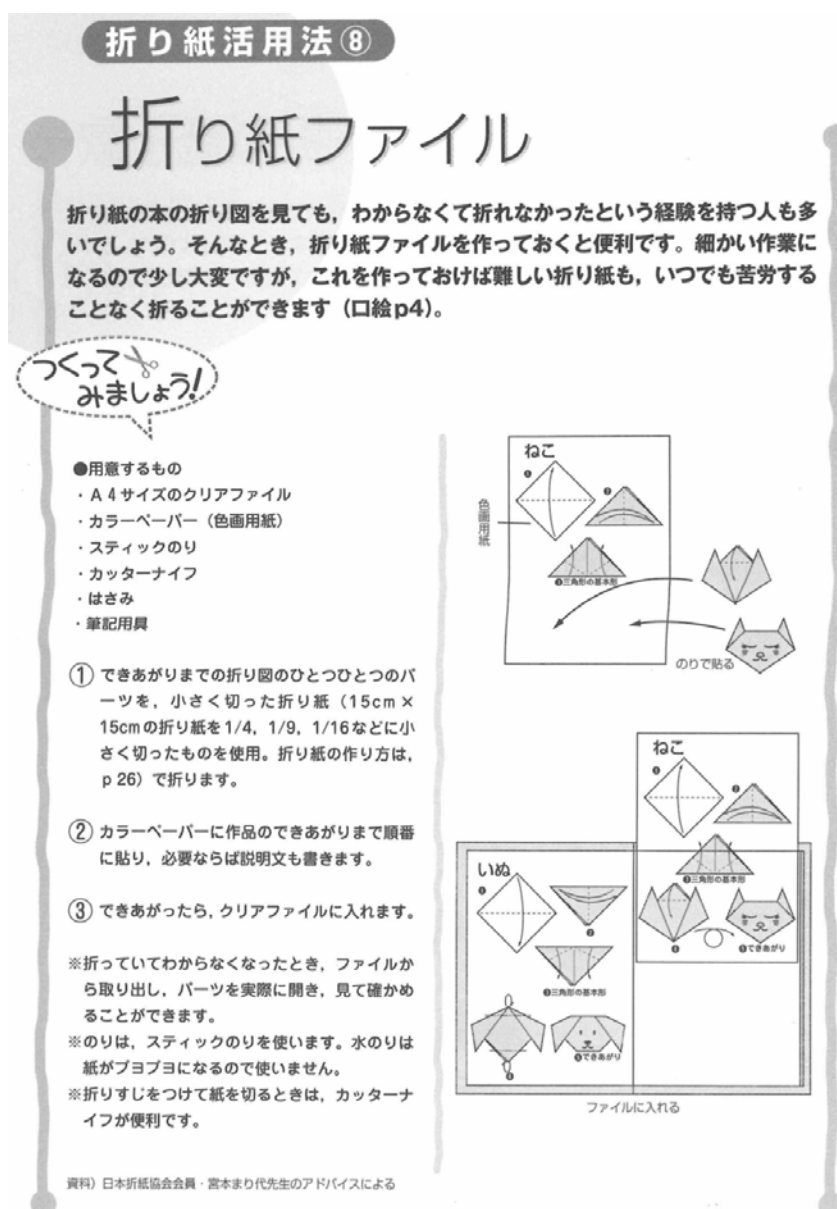
1. 履修プランの作成

自分が選択したい科目を決め、履修登録用紙を完成させてください。

シラバスを読み、興味のある科目を3つ選び、その理由を記載してください。 A4 (2000～3000字)

2. 「折り紙ノート」の作成（提出は写メール）

- ・おりがみくらぶ等のサイトを参考に、子ども向け折り紙を50種選んでください。
 - ・折り方が分かるように、ノート・ファイル等にまとめてください（下記参考）。
- （折った作品を必ず貼ること）



課題は4月17日（金）17時までにメールで提出してください。

提出先・質問事項は 各担任の先生まで

1年Aクラス 杉本先生 sugimoto@kyowa-u.ac.jp

1年Bクラス 田渕先生 tabuchi@kyowa-u.ac.jp

宇都宮共和大学子ども生活学部2年生の課題

1. 「折り紙ノート」の作成（提出は写メール）

- ・おりがみくらぶ等のサイトを参考に、子ども向け折り紙を50種選んでください。
 - ・折り方が分かるように、ノート・ファイル等にまとめてください（下記参考）。
- （折った作品を必ず貼ること）

折り紙活用法⑧

折り紙ファイル

折り紙の本の折り図を見ても、わからなくて折れなかったという経験を持つ人も多いでしょう。そんなとき、折り紙ファイルを作っておくと便利です。細かい作業になるので少し大変ですが、これを作っておけば難しい折り紙も、いつでも苦勞することなく折ることができます（口絵p4）。

つくって
みましょう!

●用意するもの

- ・A4サイズのクリアファイル
- ・カラーペーパー（色画用紙）
- ・スティックのり
- ・カッターナイフ
- ・はさみ
- ・筆記用具

① できあがりまでの折り図のひとつひとつのパーツを、小さく切った折り紙（15cm×15cmの折り紙を1/4, 1/9, 1/16などに小さく切ったものを使用。折り紙の作り方は、p26）で折ります。

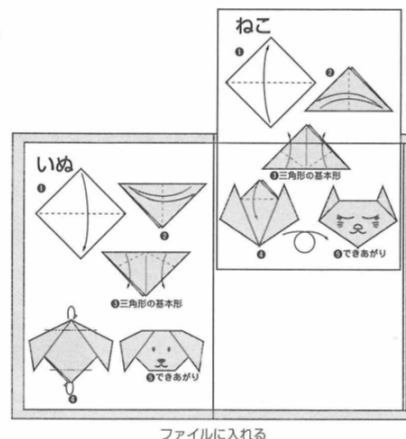
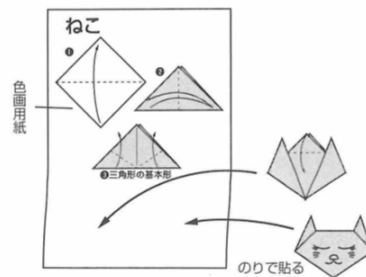
② カラーペーパーに作品のできあがりまで順番に貼り、必要ならば説明文も書きます。

③ できあがったら、クリアファイルに入れます。

※折っていてわからなくなったとき、ファイルから取り出し、パーツを実際に開き、見て確かめることができます。

※のりは、スティックのりを使います。水のりは紙がブヨブヨになるので使いません。

※折りすじをつけて紙を切るときは、カッターナイフが便利です。



ファイルに入れる

資料) 日本折紙協会会員・宮本まり代先生のアドバイスによる

宇都宮共和大学子ども生活学部2年生の課題（続き）

2. 名札の作成（提出は写真メール）

- ・ 見本を参考に、フェルト等で名札を作成してください。
- ・ 名前はフルネームで、ひらがなとしてください。
- ・ キャラクターの使用は避けてください。



3. 音楽・リトミック課題

すでに出されている課題に取り組んでください。授業開始日に練習の成果を披露してください。

1, 2の課題は4月17日（金）17時までにメールで提出してください。

1・2に関する提出先・質問事項は 桂木先生 katsuragi@kyowa-u.ac.jpまで

宇都宮共和大学子ども生活学部3年生の課題

1. 実習施設の目的、主な入所・利用理由、施設の一日の流れ、職員構成について調べ、実習で学びたい内容をまとめなさい。 A 4 (2000～3000 字)
2. 子ども（乳児、幼児、小学生、中学生）や利用者を対象とした室内での遊びや余暇活動を 10 種類考え、実施する際の配慮点についてまとめなさい。 A 4 (2000～3000 字)

種別	対象者
乳児院	乳児と幼児（特に 0～2 歳）
児童養護施設	幼児、小学生、中学生以上
児童発達支援センター	幼児
障害児入所施設	幼児、小学生、中学生以上
障害者支援施設	18 歳以上
障害福祉サービス事業所	18 歳以上

3. 「自身の生活を主体的にデザインしよう！」

現在の自分は、人として、健康的で豊かで前向きな生活を送ることができているでしょうか。よりよい生活に向けて、自分自身の日々の生活を積極的・主体的にデザインし実践できる力を養いましょう。

そのために、以下のことに取り組み、①②③についてレポートをまとめて提出すること。

- ①現在の自分自身の生活を点検する。一日 24 時間を何にどのように使っているかチェックし、良い点（今後も続けたいことや強味など）と、改善したい点（課題や問題点など）を明確にする。
- ②改善したい点について、すぐに実践できる具体的な改善方法を考え、休業中に授業再開まで継続的に実践し、実践の状況を記録する。
- ③最終的な、改善の状況や成果についてまとめる。

A 4 (2000～3000 字)

4. 音楽課題

すでに出されている課題に取り組んでください。授業開始日に練習の成果を披露してください。

1～3の課題は、4/17（金）17時までにメールで提出してください。

提出先・質問事項は 石本先生 ishimoto@kyowa-u.ac.jp まで

宇都宮共和大学子ども生活学部4年生の課題

1. 教材研究をして、指導案を作成しましょう

1) 以下の3つのテーマから2つ選び、教材研究をする。

もの ・ からだ ・ 自然

例：もの・・・空箱（お菓子の箱、牛乳パックなど）、紙芯、段ボール、新聞紙、紙袋、
プラ容器、ゴム、ひも、玉、 など廃材を中心に
からだ・・・1人で、2人で、みんなで、ルールで、リズムにあわせて、イメージでなど
自然・・・動植物、自然物（石・土・砂・水など）、自然現象 など

2) 保育雑誌、教育課程の教科書などから、幼稚園、認定こども園における6月の年少、年中、
年長クラスそれぞれの子どもの姿、ねらい、内容、留意事項などを調べ、まとめる。

3) 2)を参考に、1)の教材研究から指導案を作成する。

- ・活動時間・・・40分程度
- ・対象児・・・年中児30名
- ・活動形態・・・クラス全体の活動
- ・子どもの姿は、2)を参考に記入すること。
- ・実習生の援助（環境構成／再構成含む）では、活動を展開するための集団としての子どもへの援助に加え、「ねらい」にむけた援助（配慮が必要な子どもへの援助、それぞれの子どもの姿を認める援助、子どもをつなげる援助など）を考え、子どもが安心して夢中になつて活動できる状況を構想しましょう。

※ 教材研究にあたって、子どもが1週間遊ぶことができることを考えましょう。

※ また、どこに「子どもの学び」を見出すことができるか考えましょう。

〔 ヒント 面白い！／どうなってるの？／どうしたらできるかな？／そういう仕組みか！／見て！すてきでしょう？／こんなふうに来るよ！／もう一回やろうよ！ 〕

※ 指導案の様式は、時系列型指導案、環境構成図型指導案のいずれかとします。用紙はデータを各自で印刷・ネットプリント利用・大学で入手のいずれかで対応のこと。

※ 授業再開時には、この課題の教材研究・指導案を模擬保育や実習に活かせるようにしましょう。

A4 3～6枚程度（2000～3000字）

2. 卒業研究を進める

指導教員と連絡をとり、卒論をすすめてください。

※課題報告会のpowerpoint原稿は、4/30の16時〆切とします。先日連絡した方法で提出してください。

1の課題は、4/17（金）17時までにメールで提出してください。

1の課題の提出先・質問事項は 市川先生 ichikawa@kyowa-u.ac.jp まで